

平成27年度（2015年度）第3回池田市図書館協議会会議録要録

日時：平成28年2月14日（日）午前10時～12時00分

場所：池田市立図書館2階会議室

出席者：（委員）石田会長、齋藤副会長、牛嶋委員、藤原委員、彭委員、丸山委員、
山田委員、伊東委員、上垣委員、佐藤委員

（事務局）加藤図書館長、東本石橋プラザ館長、他職員4名

傍聴者：なし

議 題

1. 平成28年度に向けての連絡事項
2. 今後の図書館運営の方向性について
3. その他

<資料>

- ・平成28年度にむけての連絡事項
- ・府下指定管理者制度導入図書館一覧
- ・全国の市立図書館の指定管理者制度の導入状況

会 長 それでは、平成28年度にむけての連絡事項について事務局よりお願いします。

<事務局より平成28年度にむけての連絡事項報告>

会 長 移動図書館の「石澄住宅」ステーション運休について質問はございますか。

委 員 工事終了はいつですか。

事務局 平成30年頃ときいています。移動図書館自体来年度は運行する予定ですが、以降の運行については検討事項となっています。移動図書館を廃止した場合の代替案を考案し、関係施設等へ交渉していかなければならないと考えています。

会 長 ICタグ装備委託について質問はございますか。

委 員 残りの未装備冊数が約5万7千冊とのことですが、予算はどれくらいですか。また装備完了後の計画を教えてください。

事務局 約600万円です。貼付後は自動貸出機やセキュリティゲートの設置を進めていく予

定です。北摂では摂津市を除いて全ての市が設置していますので、当館も要求していきたいと考えております。

委員 盗難の被害は多いですか。どのくらい効果がありますか。

事務局 当館の被害は他市に比べると少ない方です。所蔵数が多い市では年間4千冊ほどあった不明本が一桁減ったとのことですので、設置すれば効果は大きいと思われま

会長 広域利用が北摂全域の7市3町に拡大を予定している件について質問はございますか。

委員 広域利用拡大で予算が必要になるのはどのような場合ですか。

事務局 統計を出すためのシステム変更や広域利用専用のカードを作成している図書館がありますので、その場合に予算が発生します。当館ではゴム印のみで対処しておりますので予算は必要ありません。

委員 広域利用を推進する目的は何でしょうか。

事務局 他市の図書館も利用できることで利便性を向上し、利用サービスの拡大を図る目的です。実際のところ隣接地域の住民の利用がほとんどです。身分証明書があれば地域に制限を設けていない図書館もありますが、居住地から離れた図書館まで行くには、特化した分野の所蔵があるなどの魅力が必要になってくると思われます。

委員 介護や子育てで一時的に住まいを移しているケースがあります。池田市は高齢者が多いので、地域制限を解除すればサービス拡大につながるのではないのでしょうか。

会長 川西市との相互利用本格実施で質問はございますか。

委員 池田市民が川西市の図書館を利用する率が多いのは利便性の違いですか。

事務局 川西市は図書館が駅前にあるため利用しやすいことが大きな要因と思われま

会長 協議会委員の改選について質問はございますか。

委員 委員の選定会議はいつごろですか。

事務局 9月くらいの予定です。

会長 任期付短時間勤務職員の募集について質問はございますか。

委員 応募の条件はありますか。また公募はされますか。

事務局 司書資格が必須条件です。公募は来年1月頃を予定しています。

会長 次に議題2の今後の図書館運営の方向性について事務局より説明をお願いします。

<事務局より「府下指定管理者制度導入図書館一覧」「全国の市立図書館の指定管理者制度の導入状況」の資料に基づき説明>

会長 質問はございますか。

委員 池田市の今後の方針や具体的な計画があれば教えてください。

事務局 今後正規職員が定年退職になってしまうなどの運営上の問題があり、指定管理者制度導入の検討が課題となっています。資料のとおり全国でも指定管理者制度を導入する図書館は増加傾向にあり、受託者は民間企業が増えています。まちづくりの一環として集客力のある新施設を開設する場合に指定管理者が請け負った図書館が入るケースが多く、その場合は直営の時よりも高額の資金を投資しています。図書館は本来儲けがありませんので、他のお店で儲けを期待するか、本を売るなどで利益が生じるし

くみになっています。当館の場合は単館で、利益を生むことは難しく、また館自体も古く維持費がかかるため、指定管理者制度を導入しても経費削減の効果は低いと思われます。指定管理者を導入する目的としては、経費削減の面ではなく、民間のノウハウを取り入れたサービスの拡大を目指す方向で検討することになります。また直営に戻した館も少数ですがありますので、慎重に検討する必要があると考えています。

委員 図書館だけでなく全国的に市のサービス業は民間委託になる傾向にあります。今後の経済動向にもよりますが、もっと増加していくのではないのでしょうか。現在市役所の窓口はどのくらい委託されていますか。

事務局 総合窓口、福祉関係も一部委託になっています。

委員 石橋プラザでの催しに参加し、常日頃から職員が市民の出会いの場を提供し、市民と市民をつなごうと努力している姿を拝見しています。その努力が無駄になってしまわないように指定管理者制度を導入しても継続できるような体制を整えていかなければならないと思います。

委員 全国の状況を見ても、指定管理者制度を導入した図書館は少しずつ増えていますが、まだ10%程度です。もっと広がっても良いはずが、あまり拡大しないところに問題が隠れているのではないのでしょうか。

委員 指定管理者制度から直営に戻した図書館の理由を聞かせてください。

事務局 合併などで市の方針が変わったり、一定の成果は認めたものの、レファレンスの充実が図れないことや長期的な計画がたてられないこと、指定管理者は議会に出られないなど、市の意向が直接伝わらないため連携が迅速に行えなかったことが挙げられています。また請け負っていた業者が続けられなくなったなどの理由があります。

委員 図書館に民間が入るという発想は世界の先進国ではほとんどなく、日本だけの文化です。日本では図書館は予算削減の標的となり、重視されない傾向にあります。本来図書館は町に欠かせない、文化の象徴になるべき施設ですので、もっと図書館の価値を高める改革が必要だと思います。

委員 前期の協議会で、指定管理者制度の導入は時期尚早で、民間の活力を導入してサービスの向上を目指してほしいとの答申を出しました。現状の図書館をみると学校や地域との連携も進んでいると感じています。今後もし指定管理者制度を導入となった場合、行政との連携がどうなるか、営利目的の民間業者との折り合いがうまく取れるのかなど不安要素がたくさんあります。通常業務でサービスを向上するという点では、カフェサービスや開館時間延長など、民間の方が優れている面もありますが、市民からの突然の要望や、生活の変化に合わせて新たなことに対応できる能力が必要ですので、業者の選定は慎重に行っていただきたいです。

委員 協議会の意見はどこまで聞いてもらえるのでしょうか。指定管理者制度の導入が経費を削減する目的であれば、経費がないと言われたらそれまでになってしまいます。池田市が協議会に期待しているものは何か、図書館をどうしたいのか方針を教えてください。

事務局 前期の協議会での答申は重視しています。今後の指定管理者制度の導入検討において

も協議会での意見を伺い、図書館のより良い運営方法を考えていく予定です。また当館の場合は導入したとしても経費削減の効果はあまり期待できませんので、民間活力を導入することで本当にサービスの向上を目指せるか、もし導入するとしても金額を優先するのではなく、現在行っているサービスを全て継続してもらえるように細かい条件をつけて仕様書を作成するなど、慎重に準備を進めていかなければならないと考えています。

委員 池田市の図書館がすばらしいと感じている点として、様々なボランティアが活発に活動していることが挙げられます。この人脈はお金では買えないものです。図書館が指定管理者制度を導入するとなった時に、このボランティア活動を維持してもらえるのが最大の問題になってくると思っています。直営か指定管理かを議論することが重要ではなく、運営が民間に変わったからといってこのネットワークが切られてしまうことのないような体制を整えるための議論をするべきだと考えます。

委員 正規職員の有無で図書館の運営が左右される点に疑問があります。どうして運営できなくなるのか図書館内の問題を教えてもらい、それを踏まえながら協議したいです。

事務局 任期付職員だけでも日常業務は運営できますが、採用に期限があることから、長期的な計画が立てられないなどの制限が生じています。日常業務に関しては個人の成長にもつながるため、正規職員が行っていた業務を任期付職員へ少しずつ引き継ぎしています。しかし週4日勤務のため、限界がある面もあります。

委員 人材育成にはお金がかかりますが、人材確保のためには市役所内に人材育成のプロを配置するなど、お金をかけなければならないと思います。

委員 雇用の問題は複雑です。任期付職員の気持ちを考えると給与と仕事内容のバランスも難しいです。今の社会は契約内容に書かないと自分の仕事ではないとはっきり断る社員が増えており、そうすると組織が回らなくなり、管理職に負担がかかるといった悪循環が起きています。図書館にしても私たちが期待するような形ではうまく機能しないのが現実ではないでしょうか。

委員 豊中市、箕面市では指定管理者制度導入の話が出ませんが、池田市では何度も取り上げられるところに文化レベルの差を感じてしまいます。教育のまちを目指すのであれば前期の答申を活かしてもらいたいです。

委員 移動図書館は車両が古くなったから廃止、図書館は正規職員の減少により指定管理になるというのはとても残念です。池田市は政策として図書館をもっと重視して予算をかけるべきです。市のまちづくりの一環として駅前が再開発し、新図書館ができてそこを民間に任せるということなら前向きな議論ができますが、現状では市の予算削減に協議会が巻き込まれているだけのように感じます。

委員 予算がつかないことが前提になっていて、諦める方向で話し合うのは間違っているのではないのでしょうか。長年要望しておりました国際交流センターがやっと池田にできましたが、市民からの声が届いた結果、予算がつかしました。指定管理者制度導入を前提に追随するのではなく、直営が大事だと強く主張し、予算をつける人を動かすくらいの方法を考えても良いのではないのでしょうか。

委員 長年図書館で読み聞かせボランティアをしています。初めはボランティアの活動の場としては図書館とのかかわりが薄かったのですが、年々協力体制が整い、現在では市内の小学校へ図書館を通しておはなしボランティアを定期的に行えるようになりました。日常業務や行事においても職員の努力が伝わってきており、良い関係が築けていると感じています。利益を生まないため市のお荷物になっている印象を受けますが、図書館は市の文化的財産です。誰のために図書館があるのか、図書館の重要性を市に認識してもらい、指定管理者制度を導入するとしても現状の質を落とさないように、池田市が図書館をどうしていきたいのか、方針をきちんと持っていただきたいです。

会長 皆様のご意見を伺うと、前回の答申の趣旨を大事にしてほしいとの考えが多いと感じました。次回までに再度答申に目を通していただいて、内容について確認する必要があるかと思います。また、事務局には今回の議事録をきちんとまとめていただきたいです。この期の会合は後何回ありますか。

事務局 後1回です。また議事録につきましてはホームページに掲載しています。

委員 傍聴される方がおられないのは寂しいですね、もっと市民に興味を持ってもらいたいです。

事務局 告示はしています。前期は何度か来られていました。

委員 協議会のこともあまり知られていないように思います。もっと図書館が大切だとアピールする場が必要ではないでしょうか。図書館の必要性が伝わっていないので、予算もつかず、職員も任期付で良いとの考えになってしまうと思います。

委員 図書館に対する議員の関心はどのくらいありますか。また市の上層部の協議会への認識はどの程度ありますか。

事務局 現時点では学校教育の方に関心は集まっており、図書館に対する質問は少数ですが、市長をはじめ市の上層部も協議会は認識しており、前回指定管理者導入の諮問時には、時期尚早との答申を受けて、導入しないという判断をしています。今回も協議会の意見は重要と考えています。また、石橋プラザが月一回の休館日になったのも、国際交流センターと同じで、市民からの要望が届いた結果です。

会長 次回の協議会では今後の図書館運営の方向性を議題として、第14期と第17期協議会の答申を元に皆様のご意見を伺うこととなります。指定管理者制度導入の可否にとられずに、池田市の図書館が向かうべき理想像も合わせて議論したいと考えます。

会長 それでは本日はこれにて閉会といたします。次回は7月10日（日）開催といたします。